

# 西条自民 クラブ

楠 學 議員

(代表質問)

- 1 市政運営について
- 2 本市農業の目指す方向性について
- 3 海外市場の開拓について
- 4 国民体育大会・全国障害者スポーツ大会の開催について

## 組織改編の

### 基本的な考え方は？

**問** 市長特命の調査を行うシンクタンク部門の設置など自立した行政経営と持続的な発展を目指し、的確な政策を実践していく独自性のある組織体制を構築するため、平成29年4月1日から新たに経営戦略部を設置するほか、企画部門を強化するなど大規模な組織改編が予定されている。

特に今回、経営戦略部を設



選ばれる地域となるための取組を

けたことは、自治体間競争を勝ち抜くためには市政運営においても経営戦略が重要であり、大いに期待するところであるが、今回の組織機構の改編により、具体的にどのような組織体制を目指しているのか。

また、これまで政策の基本方針は企画情報部で検討されてきたが、経営戦略部が設置されることにより企画情報部とのすみ分けはどのようなのか。

## 答

今回の組織改編は、地方創生の大きな時代のうねりの中、著しく変化する社会、経済情勢に加え、多様

な行政課題に迅速かつ的確に対応していくため、市民役のまちづくりを推進するとともに、政策創出を担う企画部門を強化し、スピード感をもって各施策を推進できる組織体制を構築しようとするものである。

経営戦略部は、市長のトップマネジメント機能を強化した独自性のある部門として新設するものであり、現行の秘書業務や広報広聴業務、市民安全に関する業務に加え、自治体シンクタンクとして市長特命の調査研究を行うとともに、シティプロモーションを強化し、選ばれる地域となるための取組を総合的・戦略的に推進していきたい。

一方、企画情報部は、市政の総合企画及び総合調整に加え、情報化に関する業務を総務部から移管し、経営戦略部との連携の下、ICTを活用した総合的なスマートタウンの構築を推進するとともに、市民協働に関する業務の強化を図ることにより地方自治組織を核とした市民が主役のまちづくりを積極的に推進していきたい。

行 元 博 議員

(一般質問)

- 1 耕作放棄地対策について

## 耕作放棄地の発生防止対策は？

### 問

荒廃しつつある樹園地の対策は、以前から地域や行政において検討されてきたが、さまざまな問題に突き当たり、なかなかよい解決に至っておらず、産業道路沿いの優良農地である田野・中川地区の果樹園地帯における近年の状況も、その例外ではない。荒廃した樹園地の対策として、これまで営農型太陽光発電施設の設置や樹園地再編整備事業などを実施してきたが、西条市独自で農地中間管理機構の機能を補う事業を行う考えはないか。

### 答

農地の流動化については、生産の継続はもちろんのこと、耕作放棄地の発生予防にも効果があると認識している。国の事業である農

地中間管理機構の積極的な活用を促すことも必要であるが、土地の貸借は農地の出し手と受け手の信頼関係が重要であることから、今後、農業委員会と共同で農地中間管理機構の機能を補完する農地バンクのような機能を備えた制度を創設し、農地の出し手や受け手の情報をリスト化した上で農地のマッチングを行うことを検討している。

更に、今後は、農地利用最適化推進委員が設置されることから、今以上に農業委員会との連携を密にし、農地の流動化や集積に積極的に取り組み、樹園地における耕作放棄地の発生防止や解消を図っていききたい。



耕作放棄地の様子